

今村復興大臣と熊本県知事の意見交換後ぶら下がり会見
(平成28年10月16日(日) 11:50~11:57 於) 熊本県庁)

1. 発言要旨

今日は奇しくも本震のときから半年目ということではありますが、現在の状況等々お聞きしながら、また今後、復興庁としていろんなノウハウ等々の御支援できないか、あるいは、何かありましたら申し付けてくださいということで、激励かたがたこちらに参った次第でございます。今日はいろんな話がありましたが、とにかくこれからは生活支援、特に仮設住宅等に住んでおられるかたに対する対応、そういったものが大きな課題だなと感じました。

そして、もう一つは生業の再生といいますか、被災された商工業等々、特に中小の方の支援策ということ。これは交付金等々の活用の仕方といったものを強くアピールして、皆さんが自信を持って生活、生業の再生に向かえるように、そういったことをもっとやる必要があるなという話も聞いたところでもあります。

それから、もう一つは今後もしろんな形で、これは日本列島いつ何が起こるかまた分からないわけですから、東日本大震災あるいは今回の熊本の経験、そういったものを含めて、何といたしますか。知事からアーカイブという言葉が出ましたが、そういったことをしっかり検証して、そしてまた今後、いざ何か起きたときにどう動く、対応をすればいいのかという体制をつくってやるかと、そういったことも是非今後の防災・減災対策に生かしていくためにつくり上げていこうじゃないかという話も出たところで、私もそれは同感ですということで、そういったことをしっかり進めていきたいというふうに思っております。

そして、冒頭申しましたが、今日、たくさん仮設住宅等々に住んでおられる方のコミュニティづくりといいますか、これは東日本大震災の被災地でもそういった課題がありまして、いろんな形で皆さんが大分こういう努力しておられます。

東日本では、例えば家庭菜園を作ったり、私もいくつか提案したりしたのですが、そういった方の心のケアという中で、例えばお孫さんたちが遊びに来るとか、そういったスペース等もつくってやられたらいいんじゃないですかという、そういうお話もしたわけでありまして、いろんなお話が今日できて、短い時間ではありましたが有意義な時間だったと思います。

そして、また今後も屈託なく何かありましたらどうぞお申し出くださいということも含めて、握手をして別れました。

以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 知事からは具体的にどのような要望がありましたでしょうか。

(答) 具体的に言うと、先ほど言ったアーカイブですね。これが出ました。それから、さっき言ったように今後いろんな被災者の将来の不安をなくすということで、着実な計画を進めていきたいという話もありました。

それはどういうことかということ、いつまでちゃんと応援してくれるか、非常に不安に思っておられるということでありまして、その辺は大きな計画を云々すると、果たしてそれについて逆にいつまでそんなことをできるのかという心配を惹起する可能性もあるから、なるほどねとみんなが思う適切なタイミングで、正に安心感を与えて、それはこれからの再建の力になるようにということであります。

(問) ちょうど今日が熊本地震の本震から半年という節目になりますけれども、その御所感と、実際来てみてまだ第一印象だと思うんですが、被災地の印象はどのようなものだったでしょうか。

(答) 私は、この間来たのは自民党の総務会で来て以来ですから、実は大臣になってからは、私は初めてなんですね。だからそのとき見てから今日までの進捗状況というのは、正直言ってまだ見ていません。ただ、聞くところ、あるいは見聞するところによると、まだまだ益城町の復興等々、解体もなかなか進まない、そういったことを伺っておりますから、これから行ってもう一回よくよく見ていきたいというふうに思っています。

(問) 先ほどアーカイブの話が出て、大臣の方からも知事の御提案に対して、私も同感ですといった御趣旨の発言ありましたが、ちょっと今日出た話なのでなかなか具体的にというのは難しいかもしれませんが、どんなイメージで進めていくのが効果的だというふうに現段階でお感じになっていらっしゃいますか。

(答) これは東日本にしても、あるいはさかのぼれば阪神・淡路にしても、それから今回の熊本にしても、一つはどういう災害だったのかということ。これはいろんな記録等々あるかと思いますが、まずそれをきちんと収録しておくということです。

そして、そのときに一体行政なりで、あるいは皆様方がどういう対応をされたのか。そのときにやっぱりどういう問題が起きたのか、ネックだったのか、といったこともあります。

そして、あと、今度はいざ復興に関わるときに、ハード面の整備、あるいはソフト面の整備でどういう課題があったのか。どういう政策が有効だったのか。

そういったことをきちんと整理をして、そして今後いつどこで何が起こるか分かりませんから、そのとき自治体を含めた皆様方の

参考にしてもらえればというふうに思っておりますが、今、国土強靱化ということでやっておりますが、それは何もハード面で強くするだけでなく、いざというときにてきばきと動ける体制づくりということ。これは非常に大事だと思いますので、そういった面も含めてのアーカイブということで、やっていきたいというふうに思っています。

(以 上)